



第5日目(7/15)最後のまとめ

[速報ページへ](#)

参加者の振り返り・まとめです。長い文章も多いですが、この5日間すごした生徒たちの思いです。



2年古谷

今回のプロジェクトに参加して、震災のことはもちろん、震災のこと以外で主に産業についてなど知ることができた。今回の参加理由となった自分の進路について視野に入れている福祉に通ずることを支援という形でこのプロジェクトを通して学びたいということについて、震災の知識を多く学び、実際これから震災にあったときや他の地域が震災にあったときに何が出来るかを考えさせられた3日目の農業のプロジェクトのお手伝いをしたことに限っては、この活動も一支援となるのかなと思ひ、福祉を学びたいと思ふ身にとって本当に良い経験ができたと感じた。プロジェクトを終えた上で感じるのは、震災に関わらず、支援というものには色々な方法があつて、自分たちが出来ることは募金とかだけじゃなくて、もっとたくさんの方が出来るし日でも多くその支援に携わることが大事なんだなということである。これからの自分の行動を見直し、色々な場面で小さいことからでもいいから支援に携わっていこうと思ふ。

2年藤原

今回一緒に生徒会の方ともお話ができて嬉しかった。学校のことをたくさん話せた訳では無いが、同じ立場として関わりを持ち、コミュニケーションがとれて良かった。最後の一言は緊張したが、思いを伝えられたし任せてもらえてよかったと思ふ。どれも良い経験になつたし、これからの生活で防災意識やボランティア活動参加の姿勢に反映させていきたい。ボランティア活動でできたことは、まだほんの一部かもしれないが、違う環境で育つた人同士が興味を持って関わり合ふことが大切だと思ふし、その意味では十分に目標達成できて前回よりも成長した自分になつたのではないかと思ふ。参加したことで知識の抜けを補足し、新しい学びにも繋げられたので今回のツアーに参加できて良かったと心から思つた。

2年比嘉

私は今回新しい経験をたくてこの気仙沼ボランティアに参加し、船に乗ったり田んぼで草むしりをして川で泥を落としたり充実した経験が出来ました。主に東日本大震災についても沢山学んで津波について深く考える機会になりました。今回学んだ防災のことを自分だけじゃなく皆が活かせるように、伝えて、広めて、災害と一緒に生きていきたいと思ふます。

1年小椋

ホストファミリーとのお別れ寂しかったです。北摂つばさの先輩も優しくて面白くて最高でした。めっちゃ楽しかったです。また会いたいです。今回のボランティアで人とのつながりは大切だと思ひました。一期一会っていうので、大切にしたいです。でもつる子さんとはまた会いたいです。遠くでも自分を知っていてくれる人がいるってすごく心強いと思ひました。

1年佐々木

初めてのボランティア経験で、大変だった事もありますが、たくさんを学べたと思ひます。この経験を将来に活かせるよう、これから行動したいです。

1年三浦

今回の東北プロジェクトは興味本位で参加したものでしたが、この5日間で想像以上に多くの思い出を作り、学ぶことができました。その中でも一番大きいことは、被災し多くのものを失つたとしても、その人生続いていくということです。振り返ってみると、今までニュースなどを通して見ていた東日本大震災といった災害はそのとき起こり完結した出来事というような印象を持っていました。しかし実際に現地の方と関わってみると、確かにその人の人生のなかで起き、経験として残り続けているものなのだと分かりました。仮に復興が進み続けたとしても過去の災害が消えることはなく、被災した人々が受けた影響がなくなることはないです。私は今回の活動で防災や復興のことも学びましたが、最も大切なことはたとえ大きな災害に見舞われたとしても自分なりの人生を歩んでいる現地の人々の精神にあるのだと思ひました。この学びをこれからの人生で生かしていきたいと思ひます。